

研修医通信 Vol.31



熊野駅伝：白衣にAED背負って完走！



熊野市出身の私にとって、紀南病院は昔から馴染み深い病院でしたが、実際に働くのは初めてであり、また産婦人科研修ということもあって新鮮な気持ちで研修が始まりました。

多くの研修医はこの研修で新しい文化に触れたりするのですが、私の場合はここの文化で育っており、また病院内にはあらゆる所に知人が潜在しているため、今まで複数の病院でアウェー感を感じながら研修してきた私にとって、初めてホームでプレーする感覚でした。幼馴染みの妊婦に診察を拒絶される経験もホームならではの慣れない産婦人科の診療・手術も、指導医のファンキーでトリッキーな指導のおかげである程度はできるようになりました。

今までの研修先に比べてコメディカル・事務スタッフはとて親切で、紀南の人の温かさを再認識しました。また病院からのオーシャンビューは最高で、小さな悩みなどはその壮大さに飲み込まれてしまいます。プライベートでは、研修医チームで出場したくまの駅伝で惨敗し、前日の飲みすぎを悔やん、でもいせん。

前田光貴

3ヶ月の長い期間お世話になりました。

研修医の内科病棟管理の勉強の最後の機会として内科病棟・救急外来を中心に勉強させていただきました。慣れない環境の中、色々と迷惑をかけながら仕事をさせていただきましたが、おかげさまで成長できた自分があるのかなぁと思えます。

それでもまだまだ知らないこと・分からないこと・できないことだらけなことも改めて実感できました。日々そういう感情を抱きながら少しずつでも前に進むことができた嬉しさと感じます。

最後になりましたが、多方面でお世話になった皆様に感謝の言葉を改めて送りたいと思います。

本当にありがとうございました。

永春圭規

鈴鹿中央総合病院研修医2年目の伊藤温志です。

1ヶ月という短い期間でしたが、紀南病院で地域医療研修をさせて頂きありがとうございました。

内科の先生方は懇切丁寧に指導して頂き、大変感謝しています。

研修期間中に熊野駅伝に参加させていただきましたが、地域住民の方々からの沢山の温かい声援を励みに、完走する事ができました。結果は惨敗でしたが…(一一)!!

紀南での地域医療で学んだ事をいかし、今後も良い医師となれるように頑張ります。

本当にありがとうございました☆

伊藤温志

四日市社会保険病院から来ました栗原康輔です。紀南病院では、1月から内科と産婦人科で1ヵ月ずつ研修しております。内科研修では、入院患者さんの退院までのマネジメントを中心に研修させていただき、患者さんの疾患だけを診るのではなく生活背景まで理解することの重要性を学びました。研修以外にも、職員の方々と遠足に行ったり、研修医仲間と熊野市駅伝に参加したり楽しく過ごしております。もう1ヶ月間よろしくお願いたします。

栗原康輔

3か月間大変お世話になります、眞鍋葉子と申します。

学生の頃杉元理子先生から紀南病院を薦めていただき、ずっと地域医療研修をこちらで行うことを希望しており、楽しみに楽しみに待ってようやくこちらでの日々が始まりました。

指導医の先生に大変暖かく丁寧にご指導いただき、毎日とても勉強になります。毎日が夢のようで、「こんな研修がしてみたい」とずっと思っていたような理想の研修の日々で、楽しくて楽しくてたまりません。イベントなど公私にわたりあたたかく迎えていただき、誠にありがとうございます。わからないことだらけ、至らぬところばかりではありますが、何卒宜しくお願申し上げます。

眞鍋葉子

遠足出発



ゴール

